

これだけは知っておきたい！

障害のある患者さんの来院時に 医療機関に求められること

障害のある（がん）患者さんに対応するにあたって配慮すべきこと、容易にできる対応法をグループワーク形式で学ぶ研修です。知識だけでなく、障害のある当事者や身近な支援者、家族の立場からのニーズなどを理解できる機会です。

2025年3月17日（月） 16:30～18:30

開催方法：オンライン（zoom）

定員 80名

- 参加者：①全国のがん相談支援センター相談員・病院職員など
 ②障害者支援にかかわる福祉関係者
 ③障害のある当事者・障害のある方のご家族

プログラム

はじめに・ワークショップの趣旨

八巻知香子（国立がん研究センターがん対策研究所
がん情報提供部患者市民連携推進室 室長）

医療現場における合理的配慮とは

原田敦史（堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター長）

参加申し込み時の事前アンケートに寄せられた困りごと

八巻知香子

グループディスカッション

障害のある当事者（ご家族）・医療関係者・
福祉関係者でディスカッション

全体共有



医療機関の方



障害当事者・福祉分野の方



手話通訳・文字通訳あり

※グループディスカッションの場合、必要なグループのみ文字通訳がつかえます。

※必要な配慮は参加申し込みフォームにて申し出てください。

下のQRコードから

お申し込みください。

申込締切：～3月10日

※研修当日でのグループディスカッションではカメラオンにしてください。それ以外はカメラオフでのご参加をお願いいたします。プライバシーが守られる静かな場所と、安定したネットワーク環境で受講してください。

【シリーズ】医療従事者のためのサポートガイド



サポートガイドの冊子をご希望の際は下記のページよりお申し込みください。

<https://wksp.net/ncc/pamph/>

